

令和元年度 地方創生推進交付金事業の概略とKPI

交付対象 事業の名称	事業の概要	KPI（重要業績評価指標）							
		指標	指標値			実績値			
			指標値	単位	年月	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizを核とした「しごと創生」事業	釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizに、新たにブランディングマネージャーを配置し、伴走型支援の強化を行うとともに、地元金融機関と連携した商談会開催及び出展支援、IoTによる課題解決や人材育成のイベント事業の実施支援を行った。 また、釧路総合振興局や(株)マイナビと連携し、イベント方式で学生が進路決定前に地元企業の魅力に触れる機会をつくるとともに、女性求職者の就労支援講座やUIJターン希望者を対象とした個別相談会を開催し、釧路地域への就職促進を行った。	本事業による雇用創出数	15	人	R2.3	-	-	23	21
		釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizの来所相談件数	1,440	人	R2.3	-	-	797	1,581
北海道DMOを核としたインバウンド等の受入環境づくり事業	(公社)北海道観光振興機構(広域連携DMO)の運営体制の強化を図りながら、道内各地におけるDMOの形成やDMO間のネットワークを形成し、重層的な地域間連携による観光ブランド力を強化するため、「(一社)釧路観光コンベンション協会」と「NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構」の連携による地域連携DMO及び地域DMOのモデルを形成した。 また、広域連携DMOと地域連携DMO等の機能分担を行うことで、マーケティングや各種統計の情報・分析結果などを共有し、戦略的なプロモーション・情報発信、魅力的な観光地づくりや周遊ルートの造成等に取り組んだ。	釧路市宿泊客延べ数	157	万人	R2.3	145.2	153.5	153.1	147.7
北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業	釧路地域は、地域特有の自然や豊富な食資源、アイヌ民族等の歴史・文化的魅力を有し、雄大な自然環境に加えて、夏は涼しく過ごしやすいく、温泉や森林浴、その他様々な体験型観光メニューなど、地域資源を活用した体験型観光やヘルスツーリズムが盛んな地域である。 首都圏における釧路地域の認知度は必ずしも高いとは言えず、交流人口の拡大に向けて、首都圏をターゲットとした効果的なプロモーションを行うため、交流推進員を東京都内に配置し、北海道町村会と東京都特別区長会との連携するなかで、メディアによる情報発信や教育旅行、ヘルスツーリズムのプロモーション等を行い誘客促進を図った。	釧路市宿泊客延べ数	157	万人	R2.3	145.2	153.5	153.1	147.7
DMO×DMCによる持続可能な（自立＝稼ぐ）世界一級の観光地域づくり	地域の観光戦略の実践主体として、民間主体で設立されたDMC (Destination Management Company) が実施する着地型の観光コンテンツ制作を支援することで、集客の増加を宿泊の増加につなげ、地域全体としての稼ぐ力の向上を図るため、DMCが実施する下記事業への支援を実施した。 (2018年度事業)①夜の森を舞台としたテーマパーク「カムイルミナ」企画・立案・制作②アドベンチャーツーリズム・ガイドツアー造成(2020年度継続)③上記①②のPR展開として、WEB媒体に関する広告宣伝や、DMCホームページサイト製作等 (2019年度事業)①サイクルツーリズムのツアー造成と誘客促進②クルーズ客船に乗船する外国人向けの新たなパンフレット作製③インストリーム広告(8K動画使用)の配信及び台湾・中国向けデジタルプロモーションの実施	アドベンチャーツーリズム事業による夜の森を舞台としたテーマパーク入場者及びガイドツアー参加者数	49.0	千人	R2.3	-	-	0.0	34.2
		釧路を訪れる訪日外国人宿泊客延数	20	万人	R2.3	13.3	15.6	16.0	14.0